

書店と図書館司書とのコラボ 読書始めフェア

～書店が減少していく中、図書館を活用して読書体験の継続を～

山梨県内の11市町村立図書館

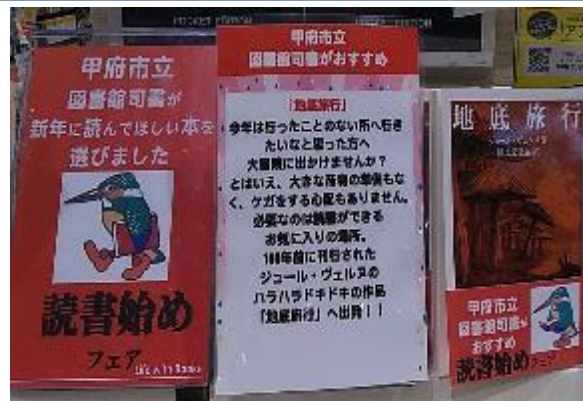
テーマ

図書館と書店等が連携して行う特色ある読書活動・行事

取組概要

山梨県内の11市町村立図書館の司書が選書した文庫を、未来屋書店(イオンモール甲府昭和店)でフェアとして展開し、フェアにて各図書館の魅力を発信。県民へ図書館の活用を促す取組。

取組詳細



未来屋書店甲府昭和店
でのフェアの様子

各図書館のキャラクターを使用したPOPと帯
司書の推薦コメントを添えて展開

「勝沼図書館」でのフェアの様子
POPなどは同じものを使用

山梨県内の書店が閉店により減少していき、書店が無い市町村も増える中、未来屋書店甲府昭和店では、「このままでは、山梨県の読書文化が廃れてしまう!」との危機感から、「書店が減少するなら、せめて地元の図書館を活用して読書体験を継続してほしい」との思いから、県内の市町村立図書館に声をかけ、11館が参加してのフェアを実施した。

〈フェアの概要〉

企画名:「山梨県の図書館司書が選ぶ ～文庫で新年を～ 2024年読書始めフェア」

内容:「本のプロである図書館司書が選書した文庫」を読んで、新年を迎えて頂く企画

各図書館で3～5冊選書し、推薦コメントをつけて展開。その際、図書館のPRになるよう、図書館の「ロゴ」や「キャラクター」を入れたポップや帯、リーフレットを作成。さらに、図書館イベントのポスターやチラシも設置。

同期間に11館中9館が図書館にて同フェアを展開。結果、相互展開となり双方で盛り上がる結果に。

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所

人口

(図書館が所在する市町村)

万人

職員数(うち有資格者数)

人(人)

蔵書数

約 万冊

取組の成果と今後

今回のフェアを通じて書店は利用するが図書館を利用しない読者層に対し、改めて図書館の魅力にも意識を向けて貰えるきっかけになり、相乗効果があったと考えられる。図書館利用者からは「紹介文があると分かりやすくていい」と好意的な意見が多く、コメントがあることで普段埋もれてしまっている本の貸出につながったとの事。(書店でも同様の現象あり)展開した図書館では概ね数日で、6～8割が貸出状態となり「貸出中ですすぐ読めない為、書店(地元)で買った」等図書館利用者が書店へ足を運ぶきっかけ作りとなった様子も見受けられた。今後も図書館、他の書店と連携を結び「山梨の読書文化を盛り上げていく」活動を継続していく。